



海上S/W業務（入出港業務）の見直し（案）

2012年6月21日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

1. 海上S/W業務（入出港業務）の見直し（案）

入出港業務について、以下のとおり見直しを行うこととする。

区分	概要	備考
1. 個別検討事項	S/W業務の見直し（入出港業務）	
2. 現行仕様	① 現行システムから入出港関連手続きはシングルウィンドウ化された。 ② 入港前統一申請業務により、税関、入国管理局、検疫所、港長、港湾管理者、地方運輸局、海上保安官署、海上交通センター宛の各種手続きを行うことが可能である。 ③ 入港前統一申請業務等、入出港関連業務は利用者の使用方法を考慮して次の2種類の業務を提供している。 (a) VPX業務等（A業務）：事前に登録された船舶運航情報等を元に申請を行う業務 (b) VPT業務等（B業務）：事前情報を利用せずに申請を行う業務	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	① 各種関連省庁手続きのシングルウィンドウ化の目的は達成されたが、依然とし、利用者からのプログラム変更要望が非常に多い。 ② 利用者の利便性向上を図ることにより、入出港手続きの更なる電子化促進を図る。	
4. 次期仕様	① S/W業務として、現行と同様にA業務、B業務の2種類を用意する。 ② 入力のインターフェースを改善する。 ③ 各申請手続きの入出力項目の整理を行う。 ④ S/W対象手続の精査を行う。	
5. その他		

2. 入出港業務の見直しの方向性

利用者ヒアリング結果及びプログラム変更要望から、現状の入出港関連業務の問題点の抽出を実施。

問題点の認識及び見直しの方向性として以下のとおり検討する。

問題点

- ① 各種手続きを1業務にまとめている。
 - 手順毎の入力項目（任意、必須）が分かりにくい。
 - 申請タイミングが異なる申請も含めてS/W化されている。
- ② 寄港順序が途中で変更となった場合の港の入れ替えが面倒。



方向性

- ① **入力のインターフェースを改善する。**
 - 選択した申請に必要な入力項目のみを表示可能とする、Web等のインターフェースの提供
 - 手順毎の申請内容を確認できる事項登録業務や確認画面の作成 等
- ② **各申請手続きの入出力項目の見直しを行う。**
 - 複数手順間で重複している項目の精査
- ③ **S/W対象手順の見直しを行う。**
 - 申請タイミングが異なる申請について、業務分割の必要性の検討